

第2回日本地学オリンピック大会参加者募集要項

(2010年第4回国際地学オリンピック・インドネシア大会日本代表選抜)

2010年9月に開催される第4回インドネシア大会に派遣する高校生代表者を下記の要領で募集・選抜します。世界各国から参加する高校生と一緒に地球科学や惑星科学の知識を競ってみませんか。そして大会開催中の様々なイベントを通して友情を育みませんか。
文科系を志望する皆さん、地学の実力を試したい皆さんの応募も歓迎します。

第2回日本地学オリンピック大会（国際大会国内選抜）

a) 予選（国際大会一次選抜）（24名程度選抜）

募集期間：2009年10月1日～11月30日

対象者：国際大会に参加可能（下欄参考参照）な高校生・中学3年生および相当学年の生徒。

なお、高校3年生は予選のみ参加可能です。また、中学2年生以下等のチャレンジ受験も大歓迎です。

日時：2009年12月20日（日曜日）2時間（13：30～15：30）会場集合13：00予定

場所：各都道府県の指定された国公私立大学

ただし、同一校より参加者の多い場合（原則として10名以上）は所属する高等学校等にも実施可能

試験内容：高等学校「地学I」の内容にほぼ準拠（海洋と天文はどちらか選択）の筆記試験（主としてマークシート）。

選抜者発表：2月上旬予定 費用：無料

（注）高校3年生にはマークシートのみ結果を、センター入試前に申し込み教員にメールにて送付予定。

2月末までに、すべての受験生の結果（各問題の解答結果と総合得点）の送付予定。

b) 本選（国際大会二次選抜）（最優秀賞（国際大会日本代表）4名、優秀賞4名選抜）

日時：2010年3月24日から26日（2泊3日） 場所：茨城県つくば市

本年度は「グランプリ地球にわくわく」（後援：ジオネットワークつくば）として本選を行います。これは、産業技術総合研究所地質調査総合センター・JAXA・気象研究所・環境研究所の協力を得て、1日目：トップレクチャー、2日目：実技試験と研究所の見学および外国人研究者との交流、3日目：研究所等見学（対象者は面接）を行う予定です。予選選抜生徒の引率教員も自費にて参加可能です。

内容：実技試験（例：地質断面図作成）（地質・固体地球分野、気象・海洋分野、惑星・天文分野の3分野から出題）と面接。

（筆記試験（100%）と実技試験（60%）の合計の上位8名に面接（英会話を含む）を行い、最優秀賞・優秀賞を決定します。）

費用：原則として主催者負担。ただし、遠方からの受験生には一部自己負担していただく可能性もあります。

c) 国際大会代表生徒の研修（予定）

1) 通信研修（4～8月）、2) 宿泊研修：7月または8月（3～4日間）場所は未定、3) 費用：主催者負担（予定）

第2回日本地学オリンピック大会応募方法

- ・参加希望者は原則として高等学校（中学校）の地学（理科）の先生を通して申し込んでください。
- ・応募申し込みを受けた先生は、申し込み用紙をNPO法人地学オリンピック日本委員会のホームページ（<http://www.jeso.jp/>）よりダウンロードし、必要事項を記入してメールに添付して申し込んでください。応募者の追加は申し込み期間中ならば随時可能です。各都道府県の試験会場大学はHPをご覧ください。
- ・メール送付先 esolympiad@yahoo.co.jp

参考：第4回国際地学オリンピック・インドネシア大会（国際大会）

日程 2010年9月19日～28日（予定） 場所 インドネシア（ジョグジャカルタ）

派遣対象者 2010年7月1日時点で19才未満の高校生 4名（費用は主催者負担）

（ただし、高等専門学校1-3年生、中等教育学校4-6年生などの高等学校に対応する学校の生徒も含む）

（申し込み時の個人情報は「地学オリンピック」事業でのみで使用し、他の目的には使用しません。また、予選通過者の学校名・学年・性別はNPO法人地学オリンピック日本委員会のHP等で公表されることがあります。また、最優秀賞・優秀賞受賞者はNPO法人地学オリンピック日本委員会のHP等で氏名・学校名・学年・性別を公表します。予めこのことを了承の上、応募・受験してください。また、予選、本選、国内研修に参加している様子等をNPO法人地学オリンピック日本委員会のHPやポスター、PRパンフレット等で写真付きで紹介し、顔写真が公表されることがあることを予めご了承ください。）

問い合わせ先

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4F 日本地球惑星科学連合気付

特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会事務局 esolympiad@yahoo.co.jp

HP <http://www.jeso.jp/>

主催：特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会

共催：一般社団法人日本地球惑星科学連合 特別協賛：独立行政法人 科学技術振興機構

後援 文部科学省 協力機関：財団法人 科学技術広報財団

協賛団体：日本地質学会、特定非営利活動法人日本火山学会、社団法人日本地震学会、日本地球化学会、日本古生物学会、日本地学教育学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本鉱物科学会、社団法人日本地理学会、社団法人東京地学協会、応用地質株式会社、

社団法人物理探査学会、社団法人日本気象学会、日本測地学会、石油技術協会、日本応用地質学会、

独立行政法人海洋研究開発機構、ジーエスアイ株式会社、三井石油開発株式会社

後援団体：社団法人全国高等学校文化連盟自然科学専門部、神奈川県立生命の星・地球博物館、神奈川県温泉研究所